

(様式1)

令和5年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(三方原中) 学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

- ・「総合的な学習の時間」で計画されている1年生の「地域学習」、2年生の「職場体験学習」、3年生の「福祉体験学習」の取り組みについて協議する。
- ・生徒、保護者向けの学校評価の項目について検討するとともに、結果についても協議する。
- ・地域、保護者、学校が共通理解しあい、同じ目線に向かって建設的な会にしていく。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ・校長が示された学校教育目標や学校運営の基本方針の内容について理解し、共有することができた。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- ・学校の教育目標と学校支援活動のつながりを意識し、役割分担を明確にして協議を重ねた。
- ・地域学習について、引き受けられる場所や実施する時期を検討したり、本校の「いじめ基本方針」、校則の見直し、部活動の地域移行、学校評価など、多岐に渡った内容について、建設的な話し合いができた。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- ・これまでも学校のホームページで会議録を開示したり、協議会での様子を学校だよりで、自治会に回覧していただいたりしてきた。今後はさらに詳しく、どのようなことが協議されているか学校だよりなどで情報発信していくようにする。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- ・「総合的な学習の時間」で計画されている1年生の「地域学習」、2年生の「職場体験学習」、3年生の「福祉体験学習」の取り組みについて協議する。
- ・生徒、保護者向けの学校評価の項目について検討するとともに、結果についても協議する。
- ・地域、保護者、学校が共通理解しあい、同じ目線に向かって建設的な会にしていく。
- ・協議会で話されている内容について、学校だよりなどで、積極的に発信していく。